

よりよい藤城教育のために ～学校評価を生かして～

日増しに秋も深まり、朝夕肌寒い季節となってきました。10月24日のJ A E T 京都大会では参観された先生方から藤城小学校の取組を高く評価していただきました。

さて、7月には教育アンケートにご協力いただきありがとうございました。藤城の教育力を高めるため、前期教育アンケートや諸調査の結果を分析し、前期の教育活動について振り返り

を行い中間のまとめとしました。9月に開かれた学校運営協議会での検討内容を含め、別紙にまとめています。(記述内容が多いため非常に細かい文字で申し訳ありません)

中間評価での成果・課題をしっかりと認識し改善に向けて取り組んでいきたいと思えます。保護者・地域の皆様のお力添えをどうぞよろしくお願いいたします。



～確かな学力～



わかる授業

「学習内容を理解し基礎的な学力をつけている」「わかりやすい授業づくりをすすめている」の質問には、9割が概ねできていると回答していただいておりますが、「家庭学習の習慣を身に付けている」は75%と低くなっています。児童アンケートを見ても「勉強はよくわかりますか」の質問に対して、93%が「よくわかる・わかる」と回答している一方で、「家で宿題以外に学習をしていますか」の質問に「よくする・する」と回答している児童は、66%にとどまっています。学力向上を目指して、さらに授業の改善をすすめていくと共に、学校での学習が家庭学習につながっていくような工夫をし、進んで自学自習をする力をつけていきたいと考えます。

各種学力調査の結果を見ると、おおむね良好です。しかし、国語の中でも「話す・聞く」力に比べると、「読む・書く」力はやや低い傾向にあります。アンケートでも「書くことは苦手」と答えている児童が、学年が上がるにつれて増えています。子どもたちが意欲をもって書く力をつけられるように、あのねノート・3文日記・100字作文など学年に応じた取組を継続していきます。

コミュニケーション能力の向上

コミュニケーション能力の中の「聞く」力については、保護者も子どもも「できる」という評価が80%以上になっています。それに対して、保護者アンケートの「相手にわかるように話している」という項目では、73%と下がっています。2人組・グループ・クラス・全校など、いろいろな場で話す経験を重ねることによって、聞き手を意識してわかりやすく話すことができるように指導していきたいと思えます。

読書活動の充実

今年度、4月から図書館運営支援員の吉井先生が毎週1回来校し、図書室の整備や本の紹介等をしてくださっています。その効果もあり、図書室での月平均貸出数は1327冊、多い月は2031冊と、たくさんの子供が図書室を利用し、本を借りています。毎朝全校で取り組んでいる読書タイムには、どの教室でも静かに本を読む姿が見られます。一方、保護者アンケートでは「読書の習慣をつけている」の項目に対して43%と低い回答となっています。

学校では、子ども同士で本の紹介をしたり、授業で学習したことと関連する図書を紹介したりして、児童が興味をもって読書に取り組めるようにしています。家庭でも、「読書の時間が確保できるように、テレビやゲーム等の時間を考え直してみる」、「親子で図書館に行ったり、一緒に読書をしたりする時間をつくる」などして、読書に親しめる環境を作っていただけたらありがたいです。



～豊かな心～

楽しい学校生活

保護者アンケートでは「楽しく学校に通っている」「仲良く協力し合って学校生活を送っている」ことについては、それぞれ96%、94%の達成度となっています。児童アンケートを見ても、「学校は楽しい」、「相手の気持ちを考えて行動している」と回答した児童がどちらも9割以上となっています。児童自身が「思いやりの心をもって、生き生きと活動する子」を意識して生活できているのではないかと思います。残り1割の児童への働きかけを大事にしながら、さらに子どもたちの様子をしっかりと見取っていきます。



相手に伝わる挨拶

以前からの課題である挨拶については、児童の86%ができていると答えていますが、保護者アンケートでは66%と低い回答になっています。これまでの取組の成果が出てきたと、評価して下さるお声もありますが、まだ十分ではないようです。

大人からの声かけだけでなく、年に2回代表委員の児童が玄関前に立って取り組む「あいさつ運動」などもきっかけとしながら、相手に伝わる気持ちのよい挨拶ができるようにしていきたいと思います。



～健やかな体～

早寝・早起き・朝ご飯

朝ご飯については、92%の児童が毎朝食べていると回答しています。「朝食を食べる」という基本的な生活習慣が定着し、学校生活を送るための準備ができているととらえることができます。

就寝時間については、「10時以降に寝る」と答えた児童が27%で、高学年になるほど、その割合は増えます。習い事等で遅くなりがちですが、睡眠時間が短くならないように気をつけたいものです。

歯磨きの習慣

学校では、毎日給食後にブラッシングタイムを設定し、83%の児童が「よくする・する」と答えています。

ところが、「食後の歯磨きの習慣を身につけている」と回答していただいたのは66%でした。家庭で朝食・夕食の後、しっかりと歯磨きをするように子ども達にお声かけをお願いしたいと思います。

また、虫歯の治療率が高学年になるにつれ、やや低くなっています。歯科検診で虫歯が見つかった場合は速やかに治療していただきますようお願いいたします。

平成26年度 前期保護者アンケート結果

	質問項目	できている だいたいできている
1	学習内容を理解し基礎的な学力をつけている	90%
2	話をしっかりと聞いている	81%
3	相手にわかるように話している	73%
4	わかりやすい授業づくりをすすめている	91%
5	家庭学習の習慣を身につけている	75%
6	読書の習慣を身につけている	42%
7	楽しく学校に通っている	96%
8	仲よく、協力し合って学校生活を送っている	94%
9	進んであいさつをしている	66%
10	相手や場に合った(望ましい)言葉づかいをしている	67%
11	ルールを守り、マナーを身につけている	84%
12	健康で体力をつけている	97%
13	「早ね・早起き・朝ごはん」の習慣を身につけている	81%
14	子どもが手洗いやうがいの習慣を身につけている	77%
15	食後の歯磨きの習慣を身につけている	66%
16	学級・学校だより、学校ホームページなどで学校の様子がわかる	93%
17	教職員に気軽に連絡や相談がしやすい	88%
18	保護者が学校行事に参加している	88%
19	学校・保護者・地域が連携して子ども達を育てている	94%

自由記述欄より

アンケート裏面の自由記述欄にはたくさんのご意見を寄せていただきありがとうございました。紙面の都合で一部紹介させていただきます。

- 小学校という新しい環境にも少しずつ慣れてきたようで、最初は毎日のように忘れ物をしていたのも最近は少なくなってきました。「自分で自分のことをする」ということを学んでくれていると思います。できること、得意なことは自信をもって伸ばし、できないこと、苦手なことは少しずつ前向きに伸ばしていけるように個性を大切にしながら指導を今後もお願いいたします。
- まだまだ学習面には不安がありますが、毎日楽しく学校生活が送れていることでうれしく思います。担任の先生の的確なフォロー、アドバイスにいつも感謝しております。細かなところまで気を配って下さり、親として安心してお任せしております。
- 学習に限らずですが、自分のことは自分でできるように段階を経て指導していただければありがたいです。家庭もですが。
- みさきの家が楽しかったらしく大変喜んでいました。ありがとうございました。
- 3泊4日の山の家の生活を経験し、心も体もより豊かに成長できたと感じます。貴重な経験の場を与えていただいたことに深く感謝申し上げます。
- 授業参観で子ども達が楽しそうに学んでいる様子がわかり安心しました。みまもり隊の活動にもたいへん感謝しています。
- 地域の各種団体が学校を中心に密接に連携しており、「地域の子は地域で育てる」ということをよく実践していると感じる。一方、各種行事に関わる方々の顔ぶれが固定化しているとも感じる。個人でできることとして学校で催される行事に子供と共々積極的に参加しようと考えます。
- 幼い子どもが事件に巻き込まれる報道を最近目にします。子どもたちが安心して学校生活を送れるように親や地域、学校が協力していくことの大切さを強く感じます。

いただいたご意見からの課題を分析し、『チーム藤城小』として教職員一同、力を合わせて子どもたちがより高まっていく教育活動に取り組んでいきたいと思っております。

また、見守り隊の皆様のご協力をいただきながら、子どもたちの登下校時の安全について、指導を続けてまいります。